平成３１年度　自己評価計画書

石川県立輪島高等学校

重点目標	具体的取組	主担当	現状	評価の観点	実現状況の達成度判断基準	判定基準	備考
1 学びがあり進路実現できる学校 ①習熟度別授業、ＡＬ型授業を充実し、授業力を向上する。	＊ 習熟度別授業 ＊ 個別添削指導 ＊ ＡＬ型授業のための研修会	教務課 各教科	入学生の学力差が顕著になっている。習熟度別授業やＡＬ型授業を行うとともに、タブレットを活用した生徒の学力向上が求められている。	【努力指標】 習熟度別授業やＡＬ型授業の充実、タブレットの活用により、教員の授業力が向上し、生徒の授業理解が深まっている。	授業力向上のためにタブレットを有効に活用しようと考える教員の割合が A　８０％以上 B　７０％以上 C　６０％以上 D　６０％未満	Ｄの場合は改善策を検討する。	教員へのアンケート
②生徒が主体的、能動的に学ぶ姿勢を育成する。	＊ 習熟度別学習課題 ＊ 学習時間調査 ＊ 個別面談	教務課 各学年 各教科	「予習－授業－復習」の学習サイクルを確立できない生徒が増加している。生徒の主体的な学習を支援し、自ら発展的に学力を高めようとする「学習リーダー」を育成することが必要である。	【成果指標】 学習課題と連動させた授業や個別指導により、生徒の学習意欲が高まり、発展的に思考する習慣が身についている。	自ら学習課題に取り組み、主体的・発展的に学習する習慣が身についたと考える生徒の割合が A　８０％以上 B　７０％以上 C　６０％以上 D　６０％未満	Ｄの場合は改善策を検討する。	生徒へのアンケート
③３年間を見通した組織的な教科指導と進路指導の実践を図る。	＊ ３年間を見通した指導計画の作成とＰＤＣＡ実践 ＊ 習熟度別指導の記録 ＊ 個別面談 ＊ 進路自主学習	進路指導課 各教科	生徒の進路希望は幅広く、個々の生徒に応じて進学指導や就職指導を行うとともに、進路実現に向けて早期から計画性を持たせた具体的な支援が必要である。	【満足度指標】 これまでの指導(国数英は「習熟度別指導の記録」等)を参考にし、３年間を見通した授業改善を行うことができている。	３年間を見通した授業等の改善ができたと考える教員の割合が A　９０％以上 B　８０％以上 C　７０％以上 D　７０％未満	Ｄの場合は改善策を検討する。	教員へのアンケート

平成３１年度　自己評価計画書

石川県立輪島高等学校

重点目標	具体的取組	主担当	現　状	評価の観点	実現状況の達成度判断基準	判定基準	備　考
2　人間力を向上できる学校 ①学校行事を通し、仲間を大切にし、他者を思いやる心を育成する。	＊ チャレンジウォーク ＊ 文化祭 ＊ 体育祭 ＊ 球技大会	総務課 生徒会課	円滑なコミュニケーションを苦手とする生徒も多く、生徒間で良好な人間関係を築いていくことができるような教員による支援が必要である。	【成果指標】 いじめ未然防止の観点を踏まえて、生徒が仲間を大切にし、他者を思いやりながら各種行事に参加している。	学校行事への取組を通して他者を思いやることが多くなったと考える生徒の割合が A　９０%以上 B　８０%以上 C　７０%以上 D　７０%未満	Dの場合は改善策を検討する。	生徒へのアンケート
②課外活動を通し、主体的、能動的に行動できる生徒を育成する。	＊ 部活動 ＊ ボランティア活動	生徒会課	課外活動において、教師主導の場面が多い。生徒が主体的・能動的に活動できるための教員による支援の工夫が必要である。	【成果指標】 部活動などの課外活動において、生徒が自主的・能動的に活動できている。	部活動などの課外活動に積極的に取り組むことができたと考える生徒の割合が A　９０%以上 B　８０%以上 C　７０%以上 D　７０%未満	Dの場合は改善策を検討する。	生徒へのアンケート
③両科生徒が協働した事業を実施し、他者と切磋琢磨することにより自己研鑽できる生徒を育成する。	＊ 全校挨拶運動 ＊ 登校指導	生徒指導課 生徒会課	両科生徒が協働して取り組んでいる挨拶運動により、地域からは「挨拶のできる学校」との評価を得ている。学校生活全般において、規範意識を高め、自律的な行動ができることが課題である。	【成果指標】 生徒一人ひとりが、「自律的な生活」を心掛けている。	挨拶や身だしなみなど、ＴＰＯに応じた適切な振る舞いができるようになったと考える生徒の割合が A　９０%以上 B　８０%以上 C　７０%以上 D　７０%未満	Dの場合は改善策を検討する。	生徒へのアンケート

平成３１年度　自己評価計画書

石川県立輪島高等学校

重点目標	具体的取組	主担当	現　状	評価の観点	実現状況の達成度判断基準	判定基準	備考
3 地域と共に成長できる学校 ①小中学校等との協働研究事業を推進する。	＊ 地域連携の協議会 ＊ 授業公開と授業参観 ＊ 研究授業と研究協議会	総務課 教務課	地域の小中学校との接続とその継続を図り、地域の教育力を向上させるために、本校のリーダーシップが期待されている。	【成果指標】 協議会や研究授業等に関わり、地域の教育力の向上に貢献できている。	協議会、授業参観、研究授業等に参加し、地域の教育力の向上に貢献できたと考える教員の割合が A　７０％以上 B　５０％以上 C　３０％以上 D　３０％未満	Ｄの場合は改善策を検討する。	教員へのアンケート
②小中学校との生徒間交流事業を拡充する。	＊ 挨拶指導 ＊ 中高学習交流 ＊ キャリア教育講演会 ＊ 体験入学	総務課 教務課	地域の児童・生徒の学力を向上させるために、本校生のリーダーシップが期待されている。	【努力指標】 小中学校との生徒間交流事業を通して、達成感や満足感を感じている。	小中高を超えた生徒間交流事業を通して、達成感や満足感を感じている生徒・児童の割合が A　９０％以上 B　８０％以上 C　７０％以上 D　７０％未満	Ｄの場合は改善策を検討する。	本校生徒および相手校生徒・児童へのアンケート
③実践的・探究的地域学習を充実し、地域貢献意識の向上を図り、地域と連携したグローカル人財を育成する。	＊ 地域調べ学習と成果発表 ＊ 朝市出店販売実習 ＊ 地域ボランティア	総務課 第１学年 総合学科 生徒会	本校生の地域への興味や関心は高いが、課題意識を持って主体的に関わり、理解を深めようとする積極性に欠けている。	【満足度指標】 課題意識を持って地域と関わり、地域への理解を深めている。	課題意識を持って、積極的に地域と関わり、地域への理解を深めることができたと考える生徒の割合が A　９０％以上 B　８０％以上 C　７０％以上 D　７０％未満	Ｄの場合は改善策を検討する。	生徒へのアンケート

平成３１年度　自己評価計画書

石川県立輪島高等学校

重点目標	具体的取組	主担当	現状	評価の観点	実現状況の達成度判断基準	判定基準	備考
4 多忙化改善を積極的に実現する学校 ①ワークライフバランスを考えた教員の意識改革を図る。	＊ 行事の精選・省力化 ＊ 会議方法の工夫	教頭 総務課	各種行事や各種会議及び報告文書等の数が多く、定時制が併置されていることもあり、退校時間が夜遅くになる教員も少なくない。	【成果指標】 各種業務の精選や省力化等を意識し、教員が効率よく業務に取り組んでいる。	昨年度より多忙化改善への意識が高まり、効率よく業務に取り組むことができたと考える教員の割合が A　９０％以上 B　８０％以上 C　７０％以上 D　７０％未満	Ｄの場合は改善策を検討する。	教員へのアンケート
②タイムマネージメントを生徒に意識させるＨＲ指導、部活動指導の確立を図る。	＊ 生徒会、部活動、挨拶運動 ＊ ＨＲでの学習指導 ＊ 部活動の計画づくり	教務課 生徒会課 生徒指導課	時間管理が不十分な生徒が少なくなく、様々な場面を通して、タイムマネジメントの大切さを伝えていく必要がある。	【努力指標】 タイムマネジメントを意識させ、時間を守る習慣が生徒に定着している。	生徒の不注意による遅刻「０」の日数が年間を通して A　１００日以上 B　　９０日以上 C　　８０日以上 D　　８０日未満	Ｄの場合は改善策を検討する。	毎朝のＳＨ
③会議の縮減や行事の精選等による業務の効率化を図る。	＊ 定時退校日の設定 ＊ 時間外勤務時間調査 ＊ 校務分掌の見直し	教頭	担任の負担が大きく、また時期によって一部の教員にかかる負担の大きい業務がある。若手を中心に部活動や教材研究にかかる時間が長い。	【成果指標】 業務の平準化が図られ、教員の時間外勤務の時間が減少している。	教員一人あたりの月平均時間外勤務時間が昨年度より A　１０％以上減少した B　　８％以上減少した C　　６％以上減少した D　　６％未満の減少であった	Ｄの場合は改善策を検討する。	教員への調査